

<各事業の報告者・講師等について>

(1) 総務省関係人口創出・拡大モデル事業（鳥取県・長野県塩尻市連携事業）報告会

プログラム ○ 事例報告「複業人材活用による地域、地域産業の活性化について」

(報告者) 山田 崇 塩尻市役所
三枝 大祐 塩尻市役所
横山 暁一 塩尻市役所、NPO 法人 MEGURU 代表理事

○ 連携事業「とっとり MEGURU ラボ」の仕様書作成者による成果発表
(境港市、智頭町、大山町)

<報告者>

塩尻市役所 やまだ たかし 山田 崇 氏

1975 年塩尻市生まれ。千葉大学工学部応用化学科卒業。塩尻市役所 企画政策部 地方創生推進課 地方創生推進係長(シティプロモーション担当)。空き家プロジェクト nanoda 代表。内閣府 地域活性化伝道師。信州大学 キャリア教育・サポートセンター 特任講師 (教育・産学官地域連携) ローカルイノベーター養成コース特別講師/地域ブランド実践ゼミ。日本一おかしな公務員 / 著者 (2019 年 6 月 27 日店頭販売 日本経済新聞出版社)

塩尻市役所 さいぐさ だいすけ 三枝 大祐 氏

1989 年生まれ、福岡県春日市出身。京都大学経済学部&応援団卒。2012 年に AGC 株式会社へ入社。自動車ガラスの営業としてダイハツ、マツダ担当。特にマツダは新規ビジネス決定後の担当として単独で広島に駐在し、QCDD(品質・コスト・物流・開発)全てにおいて社内のリソースを駆使し、顧客の期待に応えるバリューチェーンを構築。2017 年に塩尻市役所に移住&転職。シビックイノベーション拠点「スナバ」の持続可能な経営構築をメインに、その他官民連携事業や関係人口創出事業等に従事。

塩尻市役所、NPO 法人 MEGURU 代表理事 よこやま あきひと 横山 暁一 氏

1991 年生まれ、静岡県沼津市出身。名古屋大学教育学部卒。2014 年にパーソルキャリア株式会社に新卒で入社。2019 年からはパーソルキャリアと兼業する形で塩尻市の地域おこし協力隊として、塩尻商工会議所の地域人材アドバイザーに着任。現在、塩尻の人材課題解決を主眼に置いた NPO 法人 MEGURU を設立。

(2) まちづくりワークショップフォーラム

- ・ オンライン事前配信“ワークショップの課題と“これから”を考える”

「ワークショップの動向と今後の課題」(1月12日(火)配信済)

(講師) たなか あつし 田中 敦 山梨大学大学院総合研究部教授

まつした けいた 松下 慶太 関西大学社会学部教授

「ワークショップを通じた地域連携」(1月18日(月)配信済)

(講師) かとう りょう 加藤 遼 パソナ JOBHUB“旅するようにはたらく”部長

のじま ゆうき 野島 祐樹 ANA デジタルデザインラボマネージャー

・ まちづくりワーケーションフォーラム

プログラム ○ 基調報告 「鳥取県における今後の関係人口形成とワーケーションの役割」

(報告者) おかもと けいし
岡本 圭司 鳥取県関係人口推進室長

○ パネルディスカッション “観光・関係人口の次にくるもの～これからのワーケーションを考える”

(コーディネーター) 岡本 圭司 鳥取県関係人口推進室長

(パネリスト) 田中 敦 山梨大学大学院総合研究部教授

松下 慶太 関西大学社会学部教授

加藤 遼 パソナ JOBHUB“旅するようにはたらく”部長

山田 崇 塩尻市役所

<講師等>

山梨大学総合研究部教授（生命環境学域社会科学系長地域社会システム学科長） 田中 敦 氏
JTB に入社、米国本社企画部、欧州支配人室人事部や首都圏営業本部（総務部人事・労務担当）、国際旅行事業部（訪日インセンティブ、国際会議）を経て、2000 年に福利厚生アウトソーシング業である(株)JTB ベネフィットを社内ベンチャー制度を活用して起業。創業取締役として、コンサルティング営業からサービスの企画開発、オペレーション設計や経営全般に携わり、2 名からスタートした会社を 5 年間で業界 2 位、社員数 200 名以上の規模の会社に急成長させた。その後、JTB グループ本社事業創造本部事業開発室長として新規事業開発、JTB モチベーションズ（人材コンサルティング部門長）等を経て、2012 年に JTB 総合研究所に主席研究員として参画。JTB モチベーションズでは、個人や組織のモチベーション向上やキャリアデザインのコンサルティングを、また JTB 総合研究所では観光経営に必要な人材の育成や地域交流ビジネスに携わる。2016 年に国立大学法人山梨大学が観光政策科学特別コースを新設した際に転進し、現職。

関西大学社会学部教授 松下 慶太 氏

1977 年神戸市生まれ。博士（文学）。京都大学文学研究科、フィンランド・タンペレ大学ハイパーメディア研究所研究員などを経て現職。2018 年ベルリン工科大学訪問研究員。専門はメディア論、若者論、学習論、コミュニケーション・デザイン。近年は日本だけでなく世界を含めたコワーキングスペースやワーケーションなどを中心にモバイルメディア・ソーシャルメディア時代におけるワークプレイス・ワークスタイルについて研究を進めている。主な著作として『モバイルメディア時代の働き方』（勁草書房、2019）、『ネット社会の諸相』（学文社、2015 飯田良明と共編著）、『キャリア教育論』（慶應義塾大学出版、2015 荒木淳子・伊達洋駆と共著）、『デジタル・ネイティブとソーシャルメディア』（教育評論社、2012）など。

パソナ JOB HUB “旅するようにはたらく”部長 加藤 遼 氏

パソナ JOBHUB 事業統括部長。内閣官房 シェアリングエコノミー伝道師。パソナにて、若者雇用、中小企業経営支援、東北復興、観光、シェアリングエコノミーをテーマとした事業企画・開発などに取り組んだのち、現在は、パソナグループにおけるソーシャルイノベーション領域の事業戦略や社内ベンチャーファンドにてインキュベーションを担当しつつ、パソナ JOB HUB にて、タレントシェアリングプラットフォーム『JOB HUB』の事業統括を務めながら、「旅するようにはたらく」をコンセプトにしたサービス『JOB HUB LOCAL』を立上げ、全国の地域を旅するようにはたらいている。内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域力創造アドバイザー、東京都観光まちづくりアドバイザー、NPO サポートセンター理事、サステナブルビジネスハブ理事、多摩大学大学院特別招聘フェロー、IDEAS FOR GOOD フェローなどを兼務し、ビジネス・パブリック・ソーシャルのトライセクター連携によるソーシャルイノベーションに取り組んでいる。

ANA デジタルデザインラボマネージャー 野島 祐樹 氏

2007 年 ANA セールス（株）入社 大阪支店にて、旅行会社がパッケージツアーを 造成する為の航空券セールスを担当 その後、リクルートとの合併会社、ANA じゃらんパック（株）の会社・事業立ち上げに従事 全国の「じゃらん」の宿と ANA の国内線を自由に 組み合わせるダイナミックパッケージでの 旅行販売・企画・事業推進を担当。2016 年より旅行戦略部で各自治体様との共同企画や震災復興支援企画の担当 民泊を組み込んだ商品開発などを実施。2018 年から、ANA ホールディングス（株） デジタル・デザイン・ラボへ出向 「旅を通じた関係人口の拡大」を目的にシェアエコトウリズム／多拠点生活／次世代団体旅行を推進中。